



MGU外国語学習 ポートフォリオ



学籍番号：

氏 名：

はじめに

この「MGU外国語学習ポートフォリオ」は、みなさんの外国語学習を記録していくものです。まずは、今までに外国語をどんなふうに学んできたか、自分がどのくらい努力してきたか、どんな資格をとったかなどを振り返ってみましょう。努力したこと、楽しく学べたこと、苦手で苦勞してきたことなどいろいろ思い出すことでしょう。そうすることで、今なにができるか、これからなにをしたいかが見えてくるでしょう。

これから大学生になる皆さんは、新しい外国語を学ぶ機会が増えてきます。新しい事柄、表現を学び、できるようになったことを一つ一つ記録していきましょう。そうすると、次に自分がどんなことができるようになるか、あるいはいけないかが見えてきます。自分自身の学習目標を立てることで、学習が具体化し、外国語ができるようになってなにをしたいかをより明確にすることができるでしょう。外国語の学習にはゴールはありません。自分が日々ゴールを設定しそれにむかっていくことが重要です。そのためには、自分の学習スタイルを確立していく必要があります。学習を記録することによってそれも可能になっていくでしょう。

ポートフォリオとは、自分の学習プロセスを記録したり学習の成果を示すもの（授業の課題、検定試験等の結果等）を集めたりした「学習の記録」です。学習過程には、自分のこれからの学習のヒントになるものもたくさんあります。この学習を記録する習慣を身につけ、大学を卒業してからも自らすすんで自律的に学習できるようにすることを願っています。

ポートフォリオに載せている学習到達度指標は、もともとヨーロッパで、言葉や文化の違いを超えてお互いの交流ができるようになることを目指して作られたCEFR（ヨーロッパ言語参照基準）を参考にしています。明学生の学習の努力がきちんと記録できるように少し工夫を加えて作成するのが、MGU CEFRです。

最後に、この「MGU外国語学習ポートフォリオ」は、大学の教育プロジェクトの一環として作成されたものです。これまで支援して下さった皆様、この作成、編集に際して終始献身的にサポートして下さいました教養教育センター附属研究所研究員の柴田美香さんにも、この場を借りて心よりの感謝の意を表したいと思います。

この「MGU外国語学習ポートフォリオ」を使ってみなさんが積極的に様々な外国語に接し、自らの学習に臨んでいくことを願っています。

2015年3月

教養教育センター外国語部門主任 大森洋子



MGU外国語学習ポートフォリオ

目次

「MGU外国語学習ポートフォリオ」 特徴と活用方法	4
これまでの外国語学習プロフィール	6
これからの学習目標	7
MGU CEFR 一覧表	8

MGU CAN-DOリスト

■ Listening (聞く)	学習到達度一覧表、A1～C2	13
■ Reading (読む)	学習到達度一覧表、A1～C2	25
■ Spoken Interaction (やりとり)	学習到達度一覧表、A1～C2	37
■ Spoken Production (発表)	学習到達度一覧表、A1～C2	49
■ Writing (書く)	学習到達度一覧表、A1～C2	61

外国語資格一覧	72
教養教育センター附属研究所主催の語学講座・語学検定試験一覧	74
教養教育センター主催ランゲージラウンジについて	75
留学プログラムのお知らせ	76

参考文献	77
自己学習の記録	78
MEMO	80

「MGU外国語学習ポートフォリオ」 特徴と活用方法

1

「MGU外国語学習ポートフォリオ」の内容

この冊子では、皆さんの外国語学習をサポートするための情報を載せています。現在の外国語学習状況、自分の学習到達度の度合いを見るための指標（学習到達度指標）とそれぞれの到達度をみるための短い文（ディスクリプタ）のほかには、CEFR基準に対応した外国語の資格、課外で行われている講座やランゲージラウンジの活動、留学に関する情報を掲載しています。自己学習の記録ページでは、現在学習中の言語とその学習状況（検定試験取得の情報や語学研修）を振り返って記録してみましょう。

2

学習到達度指標とポートフォリオ

学習到達度指標は、もともとヨーロッパで、ことばや文化の異なる国々のあいだでの交流がスムーズにでき、適宜状況にあった言語を使ってコミュニケーションができるようになることを目的として作成されたものです。「MGU外国語学習ポートフォリオ」では、日本人学習者用に作られた「CEFR-J」も参考に、初習外国語教育の状況を考慮にいれつつ、学生が学習の達成感をその都度感じることができるよう工夫されています。レベルが細分化されているので、自分ができることをこまめにチェックすることができ、今後重点的に何を行えばよいかははっきりみえてくると思います。

それぞれのレベルで、「聞く」「読む」「やりとり」「発表」「書く」に分けて、具体的な状況、言語的な制限等を示しながら、「～できる」という形で示しています。様々な言語に対応できるように工夫してあるが、担当教員に相談し、言語によっては、ディスクリプタを増やして自分の達成度を記録してみましょう。

3

各ページの活用方法

【これまでの外国語学習のプロフィール】… P6

まずは、現時点までの自分自身の外国語学習歴・使用歴を振り返り、記録しましょう。

【これからの学習目標】… P7

これから大学で外国語を学ぶにあたり、「どんな外国語を用いて」、「何ができるようになりたいか」を考え、記入してみましょう。そして、記入した目標を達成するためには、「どんな学習目標」を立てればよいか具体的に記入してみましょう。

【MGU CEFRディスクリプター一覧表】… P8

明治学院大学で外国語を学ぶにあたり、その学習の修得度(到達度)を5技能別に15段階で示した一覧表です。自分がどのレベルまで言語を修得してきたか、また、どんな技能が得手不得手なのか等を認識することができます。一つの言語でも、技能によって修得度が異なる場合もあるでしょう。この一覧を活用し、学習の具体的な目標をたてる参考にしてみてください。

【MGU CEFR修得度(到達度)一覧表】

Listening…P13 **Reading**…P25 **Spoken Interaction**…P37

Spoken Production…P49 **Writing**…P61

各技能のページの先頭に、各レベルに到達できた最初の日付を書き込めるページがあります。次のCAN-DOリストと合わせて活用しましょう。

【MGU CEFR CAN-DOリスト】

Listening…P14 **Reading**…P26 **Spoken Interaction**…P38

Spoken Production…P50 **Writing**…P62

CAN-DOリストとは、各レベルの修得度(到達度)をより具体的に示している文のことです。5技能別15段階で詳細なリストを作成してあります。まずは、CAN-DOリストの右欄に新しく学ぶ外国語名を記入しましょう。学習が進むにつれて、何ができるようになったかをチェックし、できるようになった日付をいれましょう。また、担当教員に相談し、必要に応じてCAN-DOリストの項目を足してみましょ。定期的にチェックし、何の学習が足りてないかを把握して、授業を受けるに当たっての目標や課外での学習の参考にしていきましょう。

【CEFR基準に対応した外国語資格一覧】… P72

自分の学習を記録したCAN-DOリストを参考にしながら、学習の目標を立てる際に役立ててください。

【教養教育センター附属研究所主催の語学講座・語学検定試験一覧】… P74

教養教育センターは、検定試験等の具体的な目標の実現を助けるためのプログラムとして、「語学講座」や「語学検定試験」を実施しています。また、自律的な外国語学習習慣を身につける場としての「ランゲージラウンジ」の紹介もしています。

【留学プログラムのお知らせ】… P76

留学して実践力を身につけ、また異文化体験をすることは外国語学習にとって非常に大切です。国際センターが提供している様々なプログラムを簡単に紹介しているページです。

これらを上手に使って、皆さんの外国語学習をお手伝いしていきます!

これからの学習目標

1. 外国語を用いて、何ができるようになりたいか想像し、記入してみましょう。

記入例) ・〇〇語を用いて、日本の伝統文化を紹介できるようになりたい。

・〇〇語を用いて、留学生と国際的な話題について議論できるようになりたい。

・カルフォルニア大学に留学して、〇〇学を学びたい。

2. 1で記入した目標を達成するためには、どんな学習目標を立てればよいか具体的に記入してみましょう。

記入例) ・〇月のTOEIC試験で600点を指すために、問題集を一冊やり遂げる。

・〇月までに、留学に必要なTOEEL-iBT83 と IELTS7.0を取得する。

・スペイン語のDELE講座を受講して、A2レベルの取得を目指す。

		Listening (聞く)	Reading (読む)	Spoken Interaction (やりとり)	Spoken Production (発表)	Writing (書く)
全体的な 尺度	各セクション の 参照目標	<p><基礎段階の言語使用者> 具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的な表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。 自分や他人を紹介することができる。どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物等の個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 もし、相手がゆっくり、はつきり話して、助け舟を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。</p>				
		<ul style="list-style-type: none"> ● はつきりゆっくりと話してもらえれば、自分・家族、すぐ周りの具体的なものに關する聞き慣れた語やごく基本的な表現を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 相手がゆっくり話し、繰り返したり、言い換えたりしてくれて、また自分が言いたいことを表現するのに助け舟を出してくれるなら、簡単なやり取りをすることができる。 ● 直接必要なことやごく身近な話題についての簡単な質問なら、聞いたり答えたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句を使って、日常の挨拶をしたり、その挨拶に回答したりすることができる。 ● 指差し等の手段等を使いながら、自分の意思を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句を用いて、自分についてごく限られた情報を伝えることができる。 ● 絵や写真を使って、指差しながら、家族についてごく簡単な情報を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 当該言語の文字・つづりを、必要に応じて手本を参照しながら、正確に書くことができる。 ● 当該言語の文字・つづりを1文字ずつ発音されれば、聞いたとおりに書くことができる。 ● 当該言語で書いてある文字・つづりを書いてあるとおりに書き写すことができる。
CEFR A1	A1.1	<ul style="list-style-type: none"> ● 当該言語の文字の発音を聞いて、どの文字が識別できる。 ● ゆっくりはつきりと話されれば、日常のなじみのある単語を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 形式の定まった文章(名刺や郵便物等)からもっとも重要な情報(名前・所属等)を読み取ることができる。 ● 日常生活に關連のある写真やイラスト付きの簡単なポスターやパンフレットから、基礎的な語句や表現を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句を使って、日常の挨拶をしたり、その挨拶に回答したりすることができる。 ● 指差し等の手段等を使いながら、自分の意思を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎的な語句・日常のなじみのある定型表現を用いて、自分や家族について、ごく簡単な情報を伝えることができる。 ● 基礎的な語句・日常のなじみのある定型表現を用いて、自分の趣味・活動について、ごく簡単な情報を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住所・氏名・職業等の項目がある表を埋めることができる。 ● 辞書を適宜用いて、自分についての基礎的な情報(名前・住所・家族等)を書くことができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ● ゆっくりはつきり話されれば、日常のなじみのある表現(挨拶・簡単な数字・曜日等)を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分に關連し、頻繁に使われる語句を用いて書かれた、身近な人からの短い簡単な文(携帯メール等)の大意を理解することができる。 ● 日常生活に關連のある写真やイラスト付きの簡単なポスターやパンフレットから、基本的な情報を読み取ることができる。 ● 日常生活で使われる非常に短い簡単な指示を読み、理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な言い回しがあれば、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、簡単なやりとりができる。 ● ゆっくりはつきり話されれば、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、質問したり答えたりすることができる。 ● 基本的な言い回しがあれば、時間・日にち・場所を含んだ詳細な情報を質問をしたり、答えたりしながら情報のやりとりができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前もって準備したうえで、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、基礎的な語句・構文を用いて、まとまりのある情報を伝えることができる。 ● 前もって準備したうえで、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、基礎的な語句・構文を用いて、まとまりのある情報を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基礎的な表現を用いて、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、短い文章を書くことができる。 ● 簡単な語や定型表現を用いて、メッセージカード(誕生日カード等)や身近な事柄についての短いメモ等を書くことができる。
MGU CEFR A1	A1.2	<ul style="list-style-type: none"> ● ゆっくりはつきり話されれば、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、キーワード・要点・表現を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分に關連し、頻繁に使われる語句を用いて書かれた、身近な人からの短い簡単な文(携帯メール等)の大意を理解することができる。 ● 日常生活に關連のある写真やイラスト付きの簡単なポスターやパンフレットから、基本的な情報を読み取ることができる。 ● 日常生活で使われる非常に短い簡単な指示を読み、理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な言い回しがあれば、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、質問したり答えたりすることができる。 ● ゆっくりはつきり話されれば、時間・日にち・場所を含んだ詳細な情報を質問をしたり、答えたりしながら情報のやりとりができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前もって準備したうえで、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、基礎的な語句・構文を用いて、まとまりのある情報を伝えることができる。 ● 前もって準備したうえで、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、基礎的な語句・構文を用いて、まとまりのある情報を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基礎的な表現を用いて、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、短い文章を書くことができる。 ● 簡単な語や定型表現を用いて、メッセージカード(誕生日カード等)や身近な事柄についての短いメモ等を書くことができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ● ゆっくりはつきり話されれば、直接自分に關連する短くて簡単な指示や説明を理解することができる。(買物・外食等) ● 日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、大意を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 写真やイラストを参考にしながら、簡単な語句を用いて書かれた、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)についての文章の大意を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な言い回しがあれば、時間・日にち・場所を含んだ詳細な情報を質問をしたり、答えたりしながら情報のやりとりができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前もって準備したうえで、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、基礎的な語句・構文を用いて、まとまりのある情報を伝えることができる。 ● 前もって準備したうえで、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、基礎的な語句・構文を用いて、まとまりのある情報を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数の文を用いて、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回り)について、短い文章を書くことができる。 ● 複数の文を用いて、周囲の人や環境について、關連のある情報に触れながら、短い文章を書くことができる。

		Listening (聞く)	Reading (読む)	Spoken Interaction (やりとり)	Spoken Production (発表)	Writing (書く)
全体的な尺度	各セクションの参照目標	<p><基礎段階の言語使用者> ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事等、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。簡単な日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に対応することができる。自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性的な領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。</p>				
		<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な個人や家族の情報、買い物・近所・仕事等の直接自分に関連した領域で最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。 ● 短い、はっきりとした簡単なメッセージやアウプンスの要点を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ごく短い簡単なテキストなら理解できる。 ● 広告や内容紹介のパンフレット、メニュー・予定表のようなものの中から日常の単純な具体的な予測がつく情報を取り出せる。 ● 簡単に短い、個人的な手紙は理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 単純な日常の仕事の中で、情報の直接のやり取りが必要な場合は、身近な話題や活動について話し合いができる。 ● 通常は会話を続けていくだけの理解力はないのだが、短い社交的なやり取りをすることはできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族・周囲の人々・居住条件・学歴・職歴を簡単な言葉で一連の語句や文を使って説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 直接必要のある領域での事柄なら、簡単に短いメモやメッセージを書くことができる。 ● 礼状等の短い個人的な手紙を書くことができる。
A2.1		<ul style="list-style-type: none"> ● ゆっくりはっきり話されれば、自分の関連し、頻繁に使われる語句を使用した簡単な指示や説明を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句を用いて書かれていれば、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)の、予測可能な内容の文章(旅行案内・商品説明書・行事案内・人物紹介等)から、必要な情報を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● お店・郵便局等でのなじみのある特定の状況であれば、頻繁に使われる語句を用いて、自分の意思を伝えながら簡単なやりとりができる。 ● 予測できる日常的状况であれば、人から質問された際に、基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、適切に回答ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前もって準備したうえで、身近な社会に関するトピックについて、一連の簡単な語句や文、視覚的補助を用いながら、短く簡単に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常的・個人的な内容であれば、招待状・私的な手紙・メモ・メッセージ等を基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、書くことができる。
A2.2		<ul style="list-style-type: none"> ● ゆっくりはっきり話されれば、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について、一連の指示を理解することができる。 ● なじみのある発音ではっきり話されれば、公共の場(乗り物や駅・空港等)での短く簡潔なアナウンス(列車の時刻案内等)の要点を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について書かれた文章であれば、理解することができる。 ● 簡単な語句を用いて書かれた文章であれば、内容を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 相手のリードがあれば、日常のなじみのあるトピックについて会話を続けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前もって準備したうえで、身近な社会に関するトピックについて、視覚的補助を用いながら、短く簡単に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人的経験や自分に直接必要のある領域での事柄であれば、身の回りの出来事や趣味・場所・仕事等について、簡単な描写ができる。 ● 基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、日記や写真、事物の説明文等、目的にあったまとまりのある文章を書くことができる。
A2.3		<ul style="list-style-type: none"> ● ゆっくりはっきり話されれば、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について、内容をほぼ理解することができる。 ● はっきり話され、トピックが明確な場合に、頻繁に使われる簡単なメッセージやアナウンス(広告等)をほぼ理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句を用いて書かれれば、やや長い文章を読み、その内容をほぼ理解することができる。 ● 学習用で作られた副読本を、ときどき辞書の助けを借りながら読破することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 不測の事態において、基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、簡単なやりとりができる。 ● 学習した表現・語彙を用いて、広々さまざまな情報交換ができる。 ● 基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、感情を伝え合ったり、賛成や反対等の意見交換をしたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前もって準備したうえで、日常的なテーマについて、自分の意見を交え、視覚的補助を用いながら、短く簡単に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 聞いたか読みだした内容(生活や文化の紹介等の説明や物語)であれば、基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、感想や意見等短い文章で書くことができる。

CEFR A2

MGU CEFR A2

	Listening (聞く)	Reading (読む)	Spoken Interaction (やりとり)	Spoken Production (発表)	Writing (書く)
全体的な 尺度	<p><自律した言語使用者> 仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいいひの事態に対処することができる。身近な個人的にも関心の高い話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。</p>				
	各セクション の 参照目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕事・学校・娯楽で普段出会うような身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。 ● 話し方が比較的ゆっくり、はっきりとしゃべっているなら、時事問題や、個人的もしくは仕事上の話題についても、ラジオやテレビ番組の要点を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常によく使われる日常言語や自分の仕事関連の言葉で書かれたテキストなら理解できる。 ● 起こったこと、感情・希望が表現されている私信を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 当該言語圏の旅行中に最も起こりやすいたいいひの状況に対処することができる。 ● 例えば、家族や趣味、仕事・旅行・最近の出来事等、日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話に入ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事・夢や希望・野心を語るることができる。 ● 意見や計画に対する理由や説明を簡潔に示すことができる。 ● 物語を語ったり、本や映画のあらすじを話したり、またそれに対する感想・考えを表現したりできる。
B1.1	<ul style="list-style-type: none"> ● はっきりとなじみのある発音で語られれば、自分の周りで話されている良い議論の要点を理解することができる。 ● はっきりとなじみのある発音で語られれば、身近なトピックの短いラジオニュース等を聞いて、要点を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活で遭遇するさまざまな取り扱った説明書・申込書・お知らせ等、簡潔に書かれた内容を理解することができる。 ● なじみのあるトピックについて、新聞・インターネット記事を読んで、その要点を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族や趣味、仕事・旅行・最近の出来事等、日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、会話を続けることができる。 ● 前もって準備したうえで、基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、聞き手を意識しながら、自分の経験や夢、希望を、順序立てて、ある程度詳しく話せることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前もって準備したうえで、自分の関心のある社会の状況について自分の意見を加えて、プレゼンテーションをすることができ。 ● 自分の行ったプレゼンテーションについて、聴衆からの質問に適切に答えることができる。 ● 学業や仕事に関係する短い文章や短い新聞記事、概要や要点を順序立てて伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文の機能（因果関係、比較対照、列挙等）を意識し、適切な接続詞・副詞を用いて書くことができる。 ● いくつかのパラグラフで、旅行記や自己史、身近なエピソード等の物語文を、物事の順序に従って書くことができる。
B1.2	<ul style="list-style-type: none"> ● はっきりとなじみのある発音で語られれば、身近なトピックの短いラジオニュース等を聞いて、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる。 ● 自然な速さのラジオやテレビ番組（スポーツや音楽等）を聞いて、自分が関心の高い、具体的な情報の要点を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネットや参考図書等を調べて、自分が関心のある情報を手に入れることができる。 ● 基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて書かれた、自分に関係するトピックの記事の内容を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設（病院、市役所等）で、自分が直面した問題・用件を詳細に相手に伝えることができる。 ● 問題に直面して、生じた疑問について相手に質問し、適切な回答・アドバイスをうけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の感想や考えを加えながら、学業や仕事に関係する短い文章や短い新聞記事、概要や要点を順序立てて伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門的でない語彙や複雑でない文法構造を用いて、新聞記事や映画等について、あらすじや基本的な内容を報告したり、自分の意見を含めたりすることができ。 ● 文章の目的（手紙、日記、レポート等）を意識して、書くことができる。
B1.3	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国の行事や習慣等に関する説明の概要を、ゆっくりはっきりと語られれば、理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 平易な表現で書かれた長めの文章（記事・物語等）を理解することができる。 ● 学業や仕事に関係する文章を、適宜辞書を使いながら、必要な情報をつかむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の要求に反した対応について（お店へのクレーム等）、適切に自分の状況を説明し、正しい対応をうけることができる。 ● 機能（要求・提案、注文・申出、謝罪等）と状況に応じた適切な表現を用いて、目的を達成することができる。（相手に応じて丁寧さに依頼したり、お礼を言うことができる） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の感想や考えを加えながら、学業や仕事に関係する短い文章や短い新聞記事、概要や要点を順序立てて伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門的でない語彙や複雑でない文法構造を用いて、新聞記事や映画等について、あらすじや基本的な内容を報告したり、自分の意見を含めたりすることができ。 ● 文章の目的（手紙、日記、レポート等）を意識して、書くことができる。
CEFR B1					
MGU CEFR B1					

		Listening (聞く)	Reading (読む)	Spoken Interaction (やりとり)	Spoken Production (発表)	Writing (書く)
全体的な 尺度	<p><自律した言語使用者> 自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑なテクニカルな内容を理解できる。お互いに緊張しない母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細なテクニカルな内容を説明できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 長い会話や講義を理解することができる。 ● また、もし話題がある程度身近な範囲であれば、議論の流れが複雑であっても理解できる。 ● たいのみのテレビのニュースや時事問題の番組も分かる。 ● 標準語の映画なら、大部分は理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 筆者の姿勢や視点が視に出てくる現在の問題についての記事や報告が読める。 ● 現代文学の散文は読める。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 流暢に自然に会話にやり取りができる。母語話者と普通にやり取りができる。 ● 身近なコンテキストの議論に積極的に参加し、自分の意見を説明し、弁明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の興味関心のある分野に関連する限り、幅広い話題について、明瞭で詳細な説明をすることができる。 ● 時事問題について、いろいろな可能性の長所、短所を示して自己の見方を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 興味関心のある分野内なら、幅広いいろいろな話題について、明瞭で詳細な説明を書くことができる。 ● エッセイやレポートで情報を伝え、一定の視点に対する支持や反対の理由を書くことができる。 ● 手紙の中で、事件や体験について自分にとっての意義を中心に書くことができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 標準的な速さで話されれば、テレビ番組や映画の母語話者同士の会話の要点を理解することができる。 ● トピックが身近であれば、長い話や議論の流れが複雑であっても要点を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の専門分野の文章(論文・報告書等)の大意を理解することができる。 ● 現代文学での平易な文体で書かれた短めの散文を、適宜辞書を使いながら読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常的なじみのあるトピックであれば、母語話者と普通にやり取りすることができる。 ● 自分が学んだトピックや自分の興味や経験の範囲内のトピックであれば、議論に参加することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の興味関心のある分野の話題について、明瞭で詳細な説明をすることができる。 ● 時事問題等について、自分の意見も加えながら、明確に述べることができる。 ● 自分の興味関心のあるトピックについて、論拠を並べ自分の主張を明確に述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章の目的・文体を意識して、明瞭で詳細な文章(手紙・日記・レポート等)を書くことができる。 ● 興味関心がある分野について、収集した情報を要約し、自分の意見を明確にしながら文章を書くことができる。
B2.1	<ul style="list-style-type: none"> ● 慣れ親しんだ発音で話されれば、自然な速さの議論や専門的な内容の講義を理解することができる。 ● 慣れ親しんだ発音で話されれば、自然な速さのテレビ番組や映画の母語話者同士の会話の大部分を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章の内容に応じて、読む速さや読み方を変えて、内容を正確に読むことができる。 ● 自分の専門分野の文章(論文・報告書等)から、ほとんど辞書を使わずに、複数の視点の相違点を比較しながら読み、必要な情報や論点を読み取ることができる。 ● 現代文学での平易な文体で書かれた散文を、適宜辞書を使いながら読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常的なじみのあるトピックであれば、新聞・インターネットで読んだり、テレビ見たりしたニュースの要点にふれたりしながら母語話者と普通に議論することができる。 ● 自分が学んだトピックや自分の興味や経験の範囲内のトピックであれば、積極的に議論に参加し、自分の意見を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● あらかじめ複数の論点を整理したうえで、自分の興味関心のある分野や時事問題についての自分の主張を明確に述べるることができる。 ● 自分の行ったプレゼンテーションについて聴衆からの質問に、明瞭で詳細な説明をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 段落間の関係が明確で、論理の展開が一貫した文章を書くことができる。 ● ひとつのトピックについて、複数の論点を整理し、自分の根拠を示し、適切な語彙・文構造を用いて、一貫した内容のエッセイやレポートを書くことができる。 	
B2.2	<ul style="list-style-type: none"> ● 非母語話者への配慮としての言語的な調整がなされなくても、多様な会話(テレビ番組や映画の母語話者同士の会話等)を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の専門分野の文章(論文・報告書等)から、辞書を使わずに、論点を整理し、論文の主旨を正確に理解することができる。 ● 現代文学での平易な文体で書かれた散文を、ほとんど辞書を使わずに読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般的な話題から専門的な話題(文化・学術等)まで、幅広いトピックの会話に参加し、自分の考えを積極的に正確かつ流暢に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● あらかじめ用意したプレゼンテーションを、聴衆の興味に応じて内容を調整して、的確なプレゼンテーションをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の専門分野や関心のある事柄について、報告書や論文等の複雑な内容を含む文章を論理的に矛盾がなく、明瞭かつ詳細に書くことができる。 	
B2.3						

CEFR B2

MGU CEFR B2



Listening [聞く]

MGU CEFR 到達度一覧

学習目標に到達した日付を記入しましょう。

		English			
A1	A1.1				
	A1.2				
	A1.3				
	A1.4				
A2	A2.1				
	A2.2				
	A2.3				
B1	B1.1				
	B1.2				
	B1.3				
B2	B2.1				
	B2.2				
	B2.3				
C1	C1				
C2	C2				

Listening

A1

〔A1の目安〕

- はっきりとゆっくりと話してもらえれば、自分・家族・すぐ周りの具体的なものに関する聞き慣れた語やごく基本的な表現を聞き取ることができる。

A1.1	◎当該言語の文字の発音を聞いて、どの文字か識別できる。 ◎ゆっくりはっきりと話されれば、日常のなじみのある単語を聞き取ることができる。	English		
1	当該言語の発音を聞いて、どの文字か識別することができる。			
2	ゆっくりはっきり発音されれば、曜日や月を聞いて理解することができる。			
3	ゆっくりはっきり発音されれば、3桁程度までの数字を識別することができる。			
4	ゆっくりはっきり話されれば、基本的な挨拶や決まり文句を理解することができる。			
5	ゆっくりはっきり話されれば、教室内の身近なものの名前を聞いて、理解することができる。			
6				
7				
8				

A1.2	◎ゆっくりはっきり話されれば、自分や家族についての語句や表現を理解することができる。 ◎ゆっくりはっきり話されれば、日常のなじみのある表現(挨拶・簡単な数字・曜日等)を理解することができる。	English		
1	ゆっくりはっきり発音されれば、3桁程度までの数字を理解することができる。			
2	ゆっくりはっきりと話されれば、自分についての簡単な質問を理解することができる。			
3	ゆっくりはっきり話されれば、すぐ周りの日用品の名前を識別することができる。			
4	ゆっくりはっきり話されれば、数字・値段・時間を識別することができる。			
5	ゆっくりはっきり話されれば、簡単な質問を理解することができる。			
6	教室で用いる簡単な表現を聞いて、理解することができる。			
7	ゆっくりはっきり話されれば、質問や与えられた指示を理解することができる。			
8	ゆっくりはっきり話されれば、短い簡単な指示を理解することができる。			

A1.3	◎ゆっくりはっきり話されれば、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について、キーワード・要点・表現を聞き取ることができる。	English		
1	ゆっくりはっきり話されれば、すぐ周りの日用品の名前を聞いて、理解することができる。			
2	ゆっくりはっきり話されれば、数字・値段・時間を聞いて、理解することができる。			
3	ゆっくりはっきり話され、考える間があれば、言ったことを理解することができる。			
4	ゆっくりはっきり話されれば、非常に短い対話を理解することができる。			
5	ドラマ・コマーシャル・アニメ等で聞き慣れた語や句を識別することができる。			
6	よく知っている歌であれば、その中の簡単な語を理解することができる。			
7	ラジオやテレビで聞く歌の中の語や句をいくつか識別することができる。			
8				

A1.4	◎ゆっくりはっきり話されれば、直接自分に関連する短くて簡単な指示や説明を理解することができる。(買物・外食等) ◎日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について、大意を理解することができる。	English		
1	ドラマ・コマーシャル・アニメ等で聞き慣れた語や句を理解することができる。			
2	ラジオやテレビで聞く歌の中の語や句をいくつか理解できる。			
3	ゆっくりはっきり話されれば、自分自身や自分の家族に関する基礎的な語句を聞いて、理解することができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

Listening

A2

〔A2の目安〕

- ごく基本的な個人や家族の情報・買い物・近所・仕事等の直接自分に関連した領域で最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。
- 短い、はっきりとした簡単なメッセージやアナウンスの要点を聞き取ることができる。

A2.1	◎ゆっくりはっきり話されれば、自分に関連し、頻繁に使われる語句を使用した簡単な指示や説明を理解することができる。	English		
1	日常の個人的ニーズ(買い物・外食・医者に行く等)に関する簡単な語句を聞いて理解することができる。			
2	自分の関心がある分野(趣味・社会生活・休日・音楽・映画等)に関してよく使われる語句を聞いて、理解することができる。			
3	実際にデモンストレーションがあれば、自分の仕事に関する作業の簡単な説明を聞いて、理解することができる。			
4	最優先事項(ごく基本的な個人や家族の情報・買い物・地域・仕事等)に関する語句や表現を聞いて、理解することができる。			
5				
6				
7				
8				

A2.2	◎ゆっくりはっきり話されれば、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について、一連の指示を理解することができる。 ◎なじみのある発音ではっきり話されれば、公共の場(乗り物や駅・空港等)での短く簡潔なアナウンス(列車の時刻案内等)の要点を理解することができる。	English		
1	なじみのある発音ではっきり話されれば、公共の場(乗り物や駅・空港等)での短く簡潔なアナウンス(列車の時刻案内等)の要点を理解することができる。			
2	簡単な道案内を聞いて、理解することができる。			
3	直接自分につながるのある領域(家族・学校・地域)に関するよく使われる語句を聞いて、理解することができる。			
4				
5				

6				
7				
8				

A2.3	<p>◎ゆっくりはっきり話されれば、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について、内容をほぼ理解することができる。</p> <p>◎はっきり話され、トピックが明確な場合に、頻繁に使われる簡単なメッセージやアナウンス(広告等)をほぼ理解できる。</p>	English		
1	自分自身や人々、家・学校・友人・ペット・趣味等身の回りの事柄に関する語句や表現を聞いて、理解することができる。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

Listening

B1

〔B1の目安〕

- 仕事・学校・娯楽で普段出会うような身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。
- 話し方が比較的ゆっくり、はっきりとしているなら、時事問題や、個人的もしくは仕事上の話題についても、ラジオやテレビ番組の要点を理解することができる。

B1.1	<ul style="list-style-type: none"> ◎はっきりとなじみのある発音で話されれば、自分の周りで話されている長い議論の要点を理解することができる。 ◎はっきりとなじみのある発音で話されれば、身近なトピックの短いラジオニュース等を聞いて、要点を理解することができる。 	English		
1	はっきりとなじみのある発音で話されれば、日常身近なトピックについての議論の要点を理解することができる。			
2	はっきりとなじみのある発音で話されれば、多くのラジオやテレビ番組の要点を理解することができる。			
3	はっきりとなじみのある発音で話されれば、日常会話の要点を理解することができる。			
4	はっきりとなじみのある発音で話されれば、短い物語や身近なトピックについての要点を理解することができる。			
5				
6				
7				
8				

B1.2	<ul style="list-style-type: none"> ◎外国の行事や習慣等について、視覚的補助があり、ゆっくりはっきりと話されれば、その概要を理解することができる。 ◎はっきりとなじみのある発音で話されれば、身近なトピックの短いラジオニュース等を聞いて、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる。 ◎自然な速さのラジオやテレビ番組(スポーツや音楽等)を聞いて、自分が関心のある、具体的な情報の要点を理解することができる。 	English		
1	はっきりとなじみのある発音で話されれば、自分の周りで話されている長い議論の要点をたいい理解することができる。			
2	はっきりとなじみのある発音で話されれば、よく知っている分野に関する口頭やビデオ、テープによる簡単な指示を聞いて、理解することができる。			
3	はっきりとなじみのある発音で話されれば、日常使用する機器の使用説明のような簡単な情報・指示を理解することができる。			
4	はっきりとなじみのある発音で話されれば、詳しい指示・メッセージ・情報(旅行の手配・録音された留守番電話等)を聞いて、理解することができる。			

5	はっきりとなじみのある発音で話されれば短い物語を聞いて、次に何が起こるかについて仮定することができる。			
6	はっきりとなじみのある発音で話されれば、日常の勉強や仕事に関するトピックについての明確な事実情報を理解することができ、メッセージの概要とともに詳細も聞き取ることができる。			
7				
8				

B1.3	<p>◎自然な速さのラジオやテレビ番組（スポーツや音楽等）等を聞いて、自分に関心のある、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる。</p> <p>◎外国の行事や習慣等に関する説明の概要を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。</p>	English		
1	はっきりと話されれば、セミナー・円卓・会議・テレビ討議等で、自分の専門分野の身近な問題についての議論の要点を理解することができる。			
2	はっきりと話されれば、長い議論の要点を理解することができる。			
3	はっきりと話されれば、トピックが身近で、発表が明確で構成がはっきりしていれば、自分の学問や職業の専門分野の講義や講演を理解することができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

Listening

B2

〔B2の目安〕

- 長い会話や講義を理解することができる。また、もし話題がある程度身近な範囲であれば、議論の流れが複雑であっても理解できる。
- たいていのテレビのニュースや時事問題の番組も分かる。
- 標準語の映画なら、大部分は理解できる。

B2.1	◎標準的な速さで話されれば、テレビ番組や映画の母語話者同士の会話の要点を理解することができる。 ◎トピックが身近であれば、長い話や議論の流れが複雑であっても要点を理解することができる。	English		
1	標準的な速さで話されれば、具体的・抽象的なトピックについてのアナウンスやメッセージを理解することができる。			
2	標準的な速さで話されれば、参加することには問題があるかもしれないが、人々との会話を理解することができる。			
3	標準的な速さで話されれば、注意深く耳を傾けることで、自分の周囲の人が何を話しているのかほぼ理解することができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

B2.2	◎慣れ親しんだ発音で話されれば、自然な速さの議論や専門的な内容の講義を理解することができる。 ◎慣れ親しんだ発音で話されれば、自然な速さのテレビ番組や映画の母語話者同士の会話の大部分を理解することができる。	English		
1	慣れ親しんだ発音で話されれば、自分の専門分野の専門的な議論を含めて、具体的・抽象的なトピックについての複雑な話の要点を理解することができる。			
2	慣れ親しんだ発音で話されれば、議論の複雑な流れが明確に示され、トピックがある程度身近であれば、その議論を理解することができる。			
3	慣れ親しんだ発音で話されれば、ほとんどのテレビ・ラジオ番組を理解することができ、話者の口調から気分や感情を理解することができる。			
4	慣れ親しんだ発音で話されれば、雑音がある中においても、日常生活で身近なトピックでもなじみの無いトピックでも理解することができる。			

5				
6				
7				
8				

B2.3	◎非母語話者への配慮としての言語的な調整がなされていなくても、多様な会話(テレビ番組や映画の母語話者同士の会話等)を理解することができる。	English		
1	自分の専門分野の学問や職業についての講義・講演・報告等の発表の要点を理解することができる。			
2	ほとんどのテレビ・ラジオ番組を理解することができ、話者の口調から気分や感情を理解することができる。			
3	母語話者同士の会話についていくことができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

Listening

C1

〔C1の目安〕

- たとえ構成がはっきりしなくて、関係性が暗示されているにすぎず、明示的でない場合でも、長い話が理解できる。
- 特別の努力なしにテレビ番組や映画を理解できる。

C1	<p>◎会話や文章の構成があいまいで前後関係を判断しなくてはならない場合でも、ある程度長い話を理解することができる。</p> <p>◎特段の注意を払わなくても、テレビ番組や映画を理解できる。</p>	English		
1	場面に応じた表現・スタイルの変化を認識しながら、広範囲の慣用表現や口語表現を理解することができる。			
2	話題や言語が複雑であっても、職業や学問の自分の関心分野の講義、講演、報告を理解することができる。			
3	質が悪く、聞き取りに支障がある公共のアナウンス（駅や競技場等）でも特定の情報を聞き取ることができる。			
4	身近な製品やサービスの使用説明や仕様のような複雑な技術的情報を理解することができる。			
5				
6				
7				
8				

〔C2の目安〕

- 生であれ、放送されたものであれ、母語話者の速いスピードで話されても、その話し方の癖に慣れる時間の余裕があれば、どんな種類の話し言葉も、難無く理解できる。

C2	◎生であれ、放送されたものであれ、その話し方の癖に慣れるための時間があれば、母語話者の速いスピードのどんな種類の話し言葉も難無く理解することができる。	English		
1	たとえ構成がはっきりしていなくて、関係性が暗示されているにすぎず、明示的に示されていない場合でも、長い話を理解することができる。			
2	抽象的でなじみのないトピックであっても、集団討論での第三者同士の複雑なやりとりを容易に理解することができる。			
3	母語話者の速いスピードで話されるどんな種類の話し言葉も難無く理解することができる。			
4	多くの口語表現、方言の用法、聞き慣れない専門用語を含む専門的な講義や発表を理解することができる。			
5				
6				
7				
8				



Reading [読む]

MGU CEFR 到達度一覧

学習目標に到達した日付を記入しましょう。

		English			
A1	A1.1				
	A1.2				
	A1.3				
	A1.4				
A2	A2.1				
	A2.2				
	A2.3				
B1	B1.1				
	B1.2				
	B1.3				
B2	B2.1				
	B2.2				
	B2.3				
C1	C1				
C2	C2				

Reading

A1

〔A1の目安〕

- 例えば、掲示やポスター、カタログの中によく知っている名前・単語・単純な文を理解できる。

A1.1	<ul style="list-style-type: none"> ◎当該言語の文字を見て、どの文字か識別できる。 ◎慣れ親しんだ語句を見て、理解できる。 	English		
1	当該文字をみてどの文字か識別できる。			
2	ごく短い簡単な文章の中によく知っている名前、語句を理解することができる。			
3	教室でよく目にする簡単な語句や教員からのコメントを理解することができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

A1.2	<ul style="list-style-type: none"> ◎形式の定まった文章(名刺や郵便物等)から、もっとも重要な情報(名前、所属等)を読み取ることができる。 ◎日常生活に関連のある写真やイラスト付きの簡単なポスターやパンフレットから、基本的な語句や表現を読み取ることができる。 	English		
1	基本的な個人情報(名前・住所・誕生日等)を伝える簡単な表現形式を理解することができる。			
2	関心のある分野のカタログやパンフレット等から必要な情報を見つけることができる。			
3	グリーティングカードやバースデーカード、パーティーの招待状等、短いメッセージを理解することができる。			
4	日常生活で目にする看板・標識の語句を理解することができる。 (例: "station", "car park", "no parking", "no smoking", "keep left")			
5				
6				
7				
8				

A1.3	<p>◎自分に関連し、頻繁に使われる語句を用いて書かれた、身近な人からの短い簡単な文(携帯メール等)の大意を理解することができる。</p> <p>◎日常生活に関連のある写真やイラスト付きの簡単なポスターやパンフレットから、基本的な情報を読み取ることができる。</p> <p>◎日常生活で使われる非常に短い簡単な指示を読み、理解することができる。</p>	English		
1	家族や友人が書いた短いメッセージを理解することができる。			
2	簡単な情報資料(ポスター・カタログ・広告等)の内容の基本的な情報を読み取ることができる。			
3	短い簡単な指示や案内を理解することができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

A1.4	<p>◎写真やイラストを参考にしながら、簡単な語句を用いて書かれた、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)についての文章の大意を理解することができる。</p>	English		
1	写真やイラストがあれば、短い文章の大意を理解することができる。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

Reading

A2

〔A2の目安〕

- ごく短い簡単なテキストなら理解できる。
- 広告や内容紹介のパンフレット・メニュー・予定表のようなものの中から日常の単純な具体的に予測がつく情報を取り出せる。
- 簡単で短い個人的な手紙は理解できる。

A2.1	◎簡単な語句を用いて書かれれば、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)で、予測可能な内容の文章(旅行案内・商品説明書・行事案内・人物紹介等)から、必要な情報を読み取ることができる。	English		
1	情報リーフレットの中で、レジャー活動や展示会についての最も重要な情報を見つけることができる。			
2	広告・時刻表・メニュー・説明書・パンフレットのような簡単な日常的なものの中で、具体的な予測がつく情報を見つけることができる。			
3	日常よく目にする(店・ホテル・鉄道の駅等の)看板・標識や公共の掲示を理解することができる。			
4	予測可能な内容の簡単な文章の中から、身の回りの事柄の特定の情報を見つけることができる。			
5	簡単な言葉で表現されていれば、使用説明や規則を理解することができる。 (例:自動販売機の使い方)			
6				
7				
8				

A2.2	◎日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について書かれた文章であれば、理解することができる。 ◎簡単な語句を用いて書かれた文章であれば、内容を理解することができる。	English		
1	基礎的な日常語を含む自分と関係のあるあるいは自分が関心のある分野に関する短い簡単なメッセージや文章を理解することができる。			
2	簡単な言葉で書かれた文章であれば、よく知っているトピックを扱った日常的な事柄についての短い物語を理解することができる。			
3	簡単な日常よく目にする標識や掲示の中の語句を理解することができる。 (例: exit, no smoking, danger, 曜日、時刻)			
4	日常生活について伝えたり、尋ねたりしている簡単な私信を理解することができる。			
5				

6				
7				
8				

A2.3	<p>◎簡単な語句を用いて書かれれば、やや長い文章を読み、その内容をほぼ理解することができる。</p> <p>◎学習用に作られた副読本を、ときどき辞書の助けを借りながら読破することができる。</p>	English		
1	数字や名前が重要な役割を果たし、構成がはっきりしていてイラストが入っているニュースの要約や簡単な新聞記事の中の重要な情報を理解することができる。			
2	適宜辞書の助けを借りながら、物語や出来事を詳しく記述している新聞・雑誌の短い報告の中の重要な情報を理解することができる。			
3	日常的な文書やメッセージ(ホテルの予約や個人的な電話のメッセージ等)の中の基礎的な情報を理解することができる。			
4	適宜辞書の助けを借りながら、学習用に作られた副読本を読むことができる。			
5				
6				
7				
8				

Reading

B1

〔B1の目安〕

- ごく非常によく使われる日常言語や自分の仕事関連の言葉で書かれたテキストなら理解できる。
- 起こったこと・感情・希望が表現されている私信を理解できる。

B1.1	<ul style="list-style-type: none"> ◎日常生活で遭遇するさまざまな取り扱い説明書・申込書・お知らせ等、簡潔に書かれた内容を理解することができる。 ◎なじみのあるトピックについて、新聞・インターネット記事を読んで、その要点を理解することができる。 	English		
1	親しい人とのメール等に書かれた相手の出来事・感情・希望の記述を理解することができる。			
2	短い文章（例えばニュースの要約）をざっと読み、関連する事実や情報（例えば誰がどこで何をしたか）を見つけることができる。			
3	機器の使用や試験問題の解答のための、はっきり書かれた簡単な指示を理解することができる。			
4	ゲームや機器の使用やコンピュータソフトウェアのインストール、料理の手順等、はっきりと書かれた指示を理解することができる。			
5	短い簡単な日常生活の情報小冊子等の中から重要な情報を理解することができる。			
6				
7				
8				

B1.2	<ul style="list-style-type: none"> ◎インターネットや参考図書等を調べて、自分が関心のある情報を手に入れることができる。 ◎基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて書かれた、自分に関係あるトピックの記事の内容を理解することができる。 	English		
1	よく知っているトピックについての事実を伝える典型的な文章、例えば短い試合結果報告、短い雑誌記事、スターへのインタビュー等を理解することができる。			
2	簡単なメッセージや標準的な文章を理解することができる。 (例: 会社・クラブ・官庁等の文章)			
3	現代のトピックや出来事について、態度を明確にしている新聞や雑誌のコラムやインタビューを読むことができ、その文章全体に意味を理解することができる。			
4	標準的な手紙やパンフレットのような日常的なものの中で関係のある情報を見つけ、理解することができる。			
5	身近なトピックについての簡単な新聞記事の重要な点を理解することができる。			

6	求める情報を見つけるために、また特定の作業を完成するために様々な文章から情報を集めるために、自分の専門分野の長い文章をざっと読むことができる。			
7				
8				

B1.3	<p>◎平易な表現で書かれた長めの文章(記事・物語等)を理解することができる。</p> <p>◎学業や仕事に関係ある文章を、適宜辞書を使いながら、必要な情報をつかむことができる。</p>	English		
1	構成がはっきりとした物語や現代の文学作品の筋を理解することができる。			
2	構成がはっきりとした物語や現代の文学作品の筋を理解ことができ、最も重要なエピソードや出来事は何か、それらに関して重要なことは何かを認識することができる。			
3	自分の専門分野や関心事に関するトピックについて、十分理解できるレベルの単純明快な、事実に基づく文章を読むことができる。			
4	はっきりと書かれた論説文の主な結論を理解することができる。			
5	自分の学問や職業の専門分野に関する、はっきりと書かれた論説文の主な結論を理解することができる。			
6	文章の中の主な議論を理解することができる。			
7				
8				

Reading

B2

〔B2の目安〕

- 筆者の姿勢や視点が出ている現代の問題についての記事や報告が読める。
- 現代文学の散文は読める。

B2.1	◎自分の専門分野の文章（論文・報告書等）の大意を理解することができる。 ◎現代文学での平易な文体で書かれた短めの散文を、適宜辞書を使いながら読むことができる。	English		
1	物語や劇の話の展開をつかみ、内容を理解することができる。			
2	自分の関心分野に関する文章を読むことができ、その本質的な意味を理解することができる。			
3	難しい部分を読み返すことができれば、テレビやデジタルカメラの使用マニュアル等の長い使用説明を理解することができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

B2.2	◎文章の内容に応じて、読む速さや読み方を変えて、内容を正確に読むことができる。 ◎自分の専門分野の文章（論文・報告書等）から、ほとんど辞書を使わずに、複数の視点の相違点を比較しながら読み、必要な情報や論点を読み取ることができる。 ◎現代文学での平易な文体で書かれた散文を、適宜辞書を使いながら読むことができる。	English		
1	自分の専門分野の様々なトピックについての長い複雑な文章にざっと目を通して特定の情報を見つけることができる。			
2	長く複雑な文章にざっと目を通して、自分の専門分野のさまざまなトピックについて、関連する情報を見つけることができる。			
3	著者の文体に慣れれば、ほとんど困難なく、読みたい本や短い物語を、適宜辞書を使いながら読むことができる。			
4	著者特有の姿勢や視点を示している現代の問題についての記事や報告を、適宜辞書を使いながら読むことができる。			

5				
6				
7				
8				

B2.3	<p>◎自分の専門分野の文章(論文・報告書等)から、辞書を使わずに、論点を整理し、論文の主旨を正確に理解することができる。</p> <p>◎現代文学での平易な文体で書かれた散文を、ほとんど辞書を使わずに読むことができる。</p>	English		
1	著者の意見や視点を述べている記事や報告を読んで理解することができる。 (例: 芸術批評・政治の論評解説)			
2	自分の関心のある分野・学問・職業の専門分野の文章を詳細に読み取ることができる。			
3	自分の学問や職業の専門分野の、非常に専門的な資料から情報・主張・意見を読みとることができる。			
4	適切な参考資料を利用して、専門的なトピックについての記事を読むことができる。			
5				
6				
7				
8				

Reading

C1

〔C1の目安〕

- 長い複雑な事実に基づくテキストや文学テキストを、文体の違いを認識しながら理解できる。
- 自分の関連外の分野での専門の記事も長い、技術的説明書も理解できる。

C1	<p>◎長い複雑な事実に基づくテキストや文学テキストを、文体の違いを認識しながら理解できる。</p> <p>◎自分の関連外の分野であっても専門的な記事や長めの技術的説明書も理解できる。</p>	English		
1	大小複数の主張をふくむ、専門論文一本程度の長さの複雑な文章を、キーワードの関係やトピックの推移をとらえ、適切に理解できる。			
2	隠喩や象徴的表現、あいまいに示された意図や言外の前提をほぼ理解できる。			
3	小説・評論・詩・学术论文・公文書や法律文書等、多様な様式の文章を、ほぼ間違いなく理解できる。			
4	専門分野の争点や、文学作品についての論点を発見することができる。			
5	自分の関心からはずれた専門的な論文や技術的説明書、あるいは法律文書でも、十分な時間をかければほぼ適切に理解できる。			
6	枚挙・分類・定義・理由—帰結（因果）関係・仮説検証等の論理的スキルに注目し、一貫した理解ができる。			
7	比較的明らかな文脈から、口語的な表現や省略されたことばを、適切に理解できる。			
8				

〔C2の目安〕

- 長い抽象的で、構造的にも言語的にも複雑な、例えばマニュアルや専門的記事、文学作品のテキスト等、事実上あらゆる形式で書かれた言葉を容易に読むことができる。

C2	◎抽象的で、構造的に複雑で難しい語彙を用いた文章(マニュアル・専門的記事・文学作品等)、事実上あらゆる形式で書かれた文章を読むことができる。	English		
1	大小複数の主張をふくむ、専門書一冊程度の長さの複雑な文章を、キーワードの関係やトピックの推移に注目し、問題点や論理構成を自覚しながら読むことができる。			
2	複雑に関連する隠喩や象徴的表現、あいまいに示された意図や言外の前提を詳細に理解できる。			
3	小説・評論・詩・学術論文・公文書や法律文書等、多様な様式の文章を、細部まで理解できる。			
4	専門分野のあらたな争点や、文学作品についての独自の論点を発見することができる。			
5	自分の関心からはずれた専門的な論文や技術的説明書、あるいは法律文書でも、ある程度時間をかければ適切に理解できる。			
6	たとえ複雑に組み合わせられていても、枚挙・分類・定義・理由—帰結(因果)関係・仮説検証等の論理的スキルを適切に読みとり、言外の前提も含め、細部まで理解できる。			
7	複雑な文脈からでも、口語的な表現や省略されたことばを、適切に理解できる。			
8				



Spoken Interaction [やりとり]

MGU CEFR 到達度一覧

学習目標に到達した日付を記入しましょう。

		English			
A1	A1.1				
	A1.2				
	A1.3				
	A1.4				
A2	A2.1				
	A2.2				
	A2.3				
B1	B1.1				
	B1.2				
	B1.3				
B2	B2.1				
	B2.2				
	B2.3				
C1	C1				
C2	C2				

Spoken Interaction

A1

〔A1の目安〕

- 相手がゆっくり話し、繰り返したり、言い換えたりしてくれて、また自分が言いたいことを表現するのに助け船を出してくれるなら、簡単なやり取りをすることができる。
- 直接必要なことやごく身近な話題についての簡単な質問なら、聞いたり答えたりできる。

A1.1	◎簡単な語句を使って、日常の挨拶をしたり、その挨拶に応答したりすることができる。 ◎指差し等の手段等を使いながら、自分の意思を伝えることができる。	English		
1	自分が誰であるか言うことができ、相手の名前を尋ねたり、相手のことを紹介したりすることができる。			
2	「すみません」「ごめんなさい」「ありがとう」といった簡単な語句を理解することができる。			
3	「やあ」「さようなら」「おはよう」といった簡単な挨拶を理解することができる。			
4	「お願いします」「ありがとう」といった基本的な挨拶や決まり文句を言うことができ、相手の状態を尋ねたり、自分の状態を言ったりすることができる。			
5				
6				
7				
8				

A1.2	◎自分や家族の基本的な情報について、基礎的な語句・日常のなじみのある定型表現を使って、質問したり、質問に答えたりできる。 ◎相手がゆっくりはっきり話したり、繰り返しや言い換えされたりすれば、日常の基本的な情報について、基礎的な語句・日常のなじみのある定型表現を使って、簡単なやりとりができる。	English		
1	ゆっくりはっきり話されれば、「名前は?」「歳は?」「調子はどう?」等の自分や家族について簡単な質問をしたり、答えたりすることができる。			
2	自分に対して注意深くゆっくりされた質問や短い指示を理解し、それに応答することができる。			
3	買い物や注文の際、自分が伝えたいことを身振りをういながら、お願いすることができる。			
4	数字や値段を理解して、簡単な買物をすることができる。			
5				
6				
7				
8				

A1.3	<p>◎ゆっくりはっきり話されれば、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について、簡単なやりとりができる。</p> <p>◎ゆっくりはっきり話されれば、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について、質問したり答えたりしながら、簡単なやりとりができる。</p>	English		
1	ゆっくりはっきり話されれば、家族や学生生活等日常のなじみのあるトピックに関して、簡単なやりとりができる。			
2	相手に、住んでいる場所・知り合い・所有物について応答することができる。			
3				
4				
5				
6				
7				
8				

A1.4	<p>◎基本的な言い回しを使って、自分が何をしたいのか伝え、人を誘ったり、他の人の誘いを断ったりできる。</p> <p>◎ゆっくりはっきり話されれば、時間・日にち・場所を含んだ詳細な情報を質問をしたり、答えたりしながら情報のやりとりができる。</p>	English		
1	ゆっくりはっきり話されれば、職場や仕事に関する極めて簡単な質問をしたり、質問に答えたりすることができる。			
2	慣れ親しんだ発音でゆっくりはっきり話されれば、インタビューにおいて、個人的なことにに関する簡単な質問に答えることができる。			
3				
4				
5				
6				
7				
8				

Spoken Interaction

A2

〔A2の目安〕

- 単純な日常の仕事の中で、情報の直接のやり取りが必要ならば、身近な話題や活動について話し合いができる。
- 通常は会話を続けていくだけの理解力はないのだが、短い社会的なやり取りをすることはできる。

A2.1	<p>◎お店・郵便局等でのなじみのある特定の状況であれば、頻繁に使われる語句を用いて、自分の意思を伝えながら簡単なやりとりができる。</p> <p>◎予測できる日常的な状況であれば、人から質問された際に、基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、適切に応答ができる。</p>	English		
1	相手が協力的であれば短い社会的なやり取りができ、理解させることができる。			
2	店や喫茶店等、通常の旅行で想定される状況に対応できる簡単な表現を使うことができる。 (例: 食べ物や飲み物を注文する)			
3	バスや電車、タクシー等公共の交通機関を使うことができる。また、基本的な情報を質問したり、切符を購入したりすることができる。			
4	店や郵便局で何がほしいか伝えたり、値段を尋ねたりすることができる。			
5				
6				
7				
8				

A2.2	<p>◎日常的に繰り返される場面では、基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、短いやりとりをすることができる。</p> <p>◎相手のリードがあれば、日常のなじみのあるトピックについて会話を続けることができる。</p>	English		
1	好きなことや嫌いなことを話したり、相手に賛成・反対を表明したりすることができる。			
2	目的地までの経路、ホテルの予約、医者へ行く、といった簡単な実際的な情報を得ることができる。			
3	天気・趣味・社会生活・音楽・運動等、身近な話題について質問したり、答えたりすることができる。			
4	何をするか、どこへ行くか、会う日時の変更等を相手と話し合うことができる。			
5	地図や計画に言及しながら質問したり、指示をしたりすることができる。			

6	必要なときに協力が得られれば、お互い興味があることについて友達と短い会話ができる。			
7				
8				

A2.3	<p>◎不測の事態において、基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、簡単なやりとりができる。</p> <p>◎学習した表現・語彙を用いて、広くさまざまな情報交換ができる。</p> <p>◎基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、感情を伝え合ったり、賛成や反対等の意見交換をしたりできる。</p>	English		
1	丁寧表現等を用いて、相手と友好的な関係を築けるような言葉を伝えることができる。			
2	誘ったり、相手からの誘いに応答したりできる。			
3	謝ったり、謝りを受入れたりすることができる。			
4	普段の状況で、興味がある話題であれば、短い会話に参加することができる。			
5	簡単な言葉で自分の感情を表現し、感謝の意を表明することができる。			
6	過去の活動に関する質問をしたり、そのような質問に答えたりすることができる。			
7				
8				

Spoken Interaction

B1

〔B1の目安〕

- 当該言語圏の旅行中に最も起こりやすいたいの状況に対処することができる。
- 例えば、家族や趣味・仕事・旅行・最近の出来事等、日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話に入ることができる。

B1.1	◎家族や趣味・仕事・旅行・最近の出来事等、日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、会話を続けることができる。	English		
1	時に特定の語句の繰り返しを要求することもあるが、日常会話においてははっきり発音された発言を理解することができる。			
2	状況にあった語が適切に使用されていれば、身近なことや興味があるほとんどの話題に関する会話に十分対応することができる。			
3	会話に参加することができ、お互いに共通の仕事上の話題に関する質問をしたり、質問に答えたりすることができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

B1.2	◎公共施設(病院・市役所等)で、自分が直面した問題・用件を詳細に相手に伝えることができ、その結果正しい対応をうけることができる。 ◎問題に直面して、生じた疑問について相手に質問し、適切な回答・アドバイスをうけることができる。	English		
1	詳細な指示をしたり、理解したりすることができる。			
2	驚き・幸せ・悲しみ・関心・無関心といった感情を適切に表現したり、そういった感情に適切に反応したりすることができる。			
3	詳細な情報・伝言・指示または説明を入手することができる。			
4	考えや意見を述べたり、相手に求めたりすることができる。			
5	あることが何故問題なのか説明し、相手の考えにコメントすることができる。			
6	相手をはっきりと話し、あまり多く「特別な」表現を使わなければ、言われたことをほとんど理解することができる。			

7	自分の分野に関する日常的あるいは非日常的なことに 関する事実をある程度自信をもって交換 したり、確認したりすることができる。			
8				

B1.3	<p>◎自分の要求に反した対応について（お店へのクレーム等）、適切に自分の状況を説明し、正しい対応をうけることができる。</p> <p>◎機能（要求・提案・注文・申出・謝罪等）と状況に応じた適切な表現を用いて、目的を達成することができる。（相手に応じて丁寧に依頼したり、お礼を言ったりすることができる）</p>	English		
1	あることが何故問題なのか説明し、次に何をすべきか議論し、代替案を比較対比することができる。			
2	丁寧に賛成したり反対したりでき、個人的な意見を交換したり、決定や考えの交渉ができる。			
3	歯医者へ行く、自転車を修理してもらおうといった休日に起こりうる予期せぬ出来事に対応することができる。			
4	何かプロジェクトを始めるとき、自分の考えを述べたり相手の考えを尋ねたりする等、実践的な問題を解決するための助けができる。			
5	映画や音楽、文学等、抽象的なことについて考えを伝えることができる。			
6				
7				
8				

Spoken Interaction

B2

〔B2の目安〕

- 流暢に自然に会話をすることができ、母語話者と普通にやり取りができる。
- 身近なトピックの議論に積極的に参加し、自分の意見を説明し、弁明できる。

B2.1	◎日常のなじみのあるトピックであれば、母語話者と普通にやり取りすることができる。 ◎自分が学んだコンテキストや自分の興味や経験の範囲内のトピックであれば、議論に参加することができる。	English		
1	慣れ親しんだ言葉で話されれば、日常のなじみのあるトピックの内容を詳細に理解することができる。			
2	騒がしい状況でも日常的な場面において、標準的な言葉で話される馴染みがある話題、馴染みがない話題両方を理解することができる。			
3	騒がしい状況でも、相手があまり多く「特別な」表現を使わなければ、言われたことをたいてい理解することができる。			
4	想定内もしくは想定外でも専門的なもしくは文化的な話題に関する会話に積極的に参加することができる。			
5	自分の周りで話されていることの大部分を少し努力すれば理解することができるが、全然言語を調整しない母語話者同士の議論は理解するのが難しいかもしれない。			
6				
7				
8				

B2.2	◎日常のなじみのあるトピックであれば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点にふれたりしながら母語話者と普通に議論することができる。 ◎自分が学んだトピックや自分の興味や経験の範囲内のトピックあれば、積極的に議論に参加し、自分の意見を伝えることができる。	English		
1	自己紹介、資格や経験の紹介、そして自分がいかに会社に適しているか説得力をもって議論する等、就職時の面接に対応することができる。			
2	関連する説明、議論およびコメントをすることで、議論の中で自分の意見を説明したり維持したりすることができる。			
3	意見間の関係をはっきり示しながら、個人的、学問的あるいは専門的な関心に関する話題についての長い議論や討論に効率的に参加することができる。			
4	自国文化との差異、自分の興味がある分野等の詳細な事実を交換することができる。			
5	参加するのは難しいかもしれないが、複数の早口の話者との活発な会話についていくことができる。			
6	十分な流暢さ、自然さ、適切な使用域の言葉遣いで一般的な話題に関する会話に十分に参加することができる。			

7	準備しておいた質問から自然に離れ、興味深い反応を理解し深く吟味しつつ効果的で流暢なインタビューを実行できる。			
8				

B2.3	◎一般的な話題から専門的な話題(文化・学術等)まで、幅広いトピックの会話に参加し、自分の考えを積極的に正確かつ流暢に表現することができる。	English		
1	自分の学問もしくは専門分野における事柄に関する詳細な事実を交換することができる。			
2	自分の学問もしくは専門分野における事柄に関する詳細な事実を相当量交換することができる。			
3	一般的、専門的あるいは学問的な話題の広い範囲において、流暢に正確に効果的に言葉を用いることができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

Spoken Interaction

C1

〔C1の目安〕

- 言葉をことさら探さずに流暢に自然に自己表現ができる。
- 社会上、仕事上の目的に合った言葉遣いが、意のままに効果的にできる。
- 自分の考えや意見を精確に表現でき、自分の発言を上手に他の話し手の発言にあわせることができる。

C1	<p>◎言葉をことさら探さずに流暢に自然に自己表現ができる。</p> <p>◎社会上、仕事上の目的に合った言葉遣いが、意のままに効果的にできる。</p> <p>◎自分の考えや意見を正確に表現でき、自分の発言を他の話し手の発言にうまくあわせることができる。</p>	English		
1	個人的・文化的・文化間のもしくは社会的な関心における話題に関する長い議論や討論に効果的に参加することができる。			
2	質問やコメントに対応し、複雑な反対の議論に流暢に、自発的に、適切に答えながら、説得力をもって公式な立ち位置を議論することができる。			
3	個人的なインタビューに楽に対応できる。			
4				
5				
6				
7				
8				

〔C2の目安〕

- 慣用表現、口語体表現をよく知っていて、いかなる会話や議論でも努力しないで加わることができる。
- 自分を流暢に表現し、詳細に細かい意味のニュアンスを伝えることができる。
- 表現上の困難に出会っても、周りの人がそれにほとんど気がつかないほどに修正し、うまく繕うことができる。

C2	<p>◎いかなる会話や議論でも、難無くこなすことができ、慣用表現、口語体表現も自由に使いこなすことができる。</p> <p>◎自分自身について流暢に表現し、細かい意味のニュアンスを正確に伝えることができる。</p> <p>◎表現の困難に出会っても、会話の流れの中でさまざまな修正手段を用いて自然に会話を続けることができる。</p>	English		
1	自分の学問もしくは専門分野において、抽象的で複雑な話題に関する専門家との長い討論に効果的に参加することができる。			
2	社会的かつ個人的な生活をおくるにあたり、どんな言語的な制約にも悩まされることなく、快適に適切に会話することができる。			
3	母語話者と比べて不利になることなく、流暢に説得力をもって議論しつつ、複雑な事柄に関する公式な議論において自分の主張を保つことができる。			
4				
5				
6				
7				
8				



Spoken Production [発表]

MGU CEFR 到達度一覧

学習目標に到達した日付を記入しましょう。

		English			
A1	A1.1				
	A1.2				
	A1.3				
	A1.4				
A2	A2.1				
	A2.2				
	A2.3				
B1	B1.1				
	B1.2				
	B1.3				
B2	B2.1				
	B2.2				
	B2.3				
C1	C1				
C2	C2				

Spoken Production

A1

〔A1の目安〕

- どこに住んでいるか、また、知っている人たちについて、簡単な語句や文を使って表現できる。

A1.1	<ul style="list-style-type: none"> ◎簡単な語句を用いて、自分についてごく限られた情報を伝えることができる。 ◎絵や写真を使って、指差ししながら、家族についてのごく簡単な情報を伝えることができる。 	English		
1	簡単な語句を用いて、名前、国籍等自分の情報を伝えることができる。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

A1.2	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎的な語句・日常のなじみのある定型表現を用いて、自分や家族について、ごく簡単な情報を伝えることができる。 ◎基礎的な語句・日常のなじみのある定型表現を用いて、自分の趣味・活動について、ごく簡単な情報を伝えることができる。 	English		
1	簡単な語句を用いて、家族についての情報を伝えることができる。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

A1.3	<p>◎前もって準備したうえで、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について、基礎的な語句・構文を用いて、まとまりのある情報を伝えることができる。</p> <p>◎前もって準備したうえで、周囲の人や環境について、基礎的な語句・構文を用いて、まとまりのある情報を伝えることができる。</p>	English		
1	前もって準備したうえで、自己紹介や日常のなじみのあるトピックについて、まとまりのある情報を伝えることができる。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

A1.4	<p>◎前もって準備したうえで、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)に関連のある情報に触れながら、複数の文を用いてまとまりのある情報を伝えることができる。</p> <p>◎前もって準備したうえで、周囲の人や環境について、関連のある情報に触れながら、複数の文を用いて伝えることができる。</p>	English		
1	前もって準備したうえで、日常のなじみのあるトピックについて、友人と比較したり、関連のある情報について触れたりしながら、まとまりのある情報を伝えることができる。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

Spoken Production

A2

〔A2の目安〕

- 家族・周囲の人々・居住条件・学歴・職歴を簡単な言葉で一連の語句や文を使って説明できる。

A2.1	◎前もって準備したうえで、身近な社会に関するトピックについて、一連の簡単な語句や文、視覚的補助を用いながら、短く簡単に伝えることができる。	English		
1	前もって準備したうえで、自分自身や家族、知人を説明することができる。			
2	前もって準備したうえで、自分の住んでいる町や通っている学校がどんなところにあり、何があるか等を簡単に説明することができる。			
3	前もって準備したうえで、自分の持ち物について、色や形等を簡単に説明することができる。			
4	前もって準備したうえで、普段していることを説明することができる。			
5	前もって準備したうえで、自分の好き嫌いを説明することができる。			
6				
7				
8				

A2.2	◎前もって準備したうえで、身近な社会に関するトピックについて、視覚的補助を用いながら、短く簡単に伝えることができる。	English		
1	前もって準備したうえで、様々な補助手段を用いて、自分の経験（旅行やアルバイト等）について簡単に説明することができる。			
2	前もって準備したうえで、自分の趣味や興味のあることを簡単に説明することができる。			
3	前もって準備したうえで、現在もしくは直近の仕事を説明することができる。			
4	前もって準備したうえで、通っている学校や現在の教育環境、もしくは現在の仕事について話をするすることができる。			
5	前もって準備したうえで、計画をたてたり、調整したり、代替案を説明したりできる。			
6	前もって準備したうえで、物事を簡単に描写し比較することができる。			
7				

8				
---	--	--	--	--

A2.3	◎前もって準備したうえで、日常的なテーマについて、自分の意見を交え、視覚的補助を用いながら、短く簡単に伝えることができる。	English		
1	前もって準備したうえで、様々な補助手段を用いて、自分の学習している科目や趣味について説明することができる。			
2	前もって準備したうえで、なじみのある話題に関して、練習すれば短いプレゼンテーションをすることができる。			
3	前もって準備したうえで、先週末の出来事、直近の休日の出来事等、過去の活動や経験を説明することができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

Spoken Production

B1

〔B1の目安〕

- 簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事・夢や希望・野心を語るができる。
- 意見や計画に対する理由や説明を簡潔に示すことができる。
- 物語を語ったり、本や映画のあらすじを話したり、またそれに対する感想・考えを表現したりできる。

B1.1	◎前もって準備したうえで、基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、聞き手を意識しながら、自分の経験や夢、希望を、順序だて、ある程度詳しく語るができる。	English		
1	物語を伝えたり映画や本の筋を伝えたりすることができる。			
2	感情や反応等にも触れながら、自分の経験について詳細に説明することができる。			
3	本やテレビで起こった出来事を伝えることができる。			
4	夢や希望・抱負・自分の身の回りで起こった出来事を説明することができる。			
5	前もって準備をしたうえで、日常的な出来事に関する短い発表や宣言を行うことができる。			
6	自分の行動、計画等について、説明や理由づけができる。			
7				
8				

B1.2	◎前もって準備したうえで、自分の関心のある社会の状況について自分の意見を加えて、プレゼンテーションをすることができる。 ◎自分の行ったプレゼンテーションについて、聴衆からの質問に適切に答えることができる。 ◎学業や仕事に関係ある短い文章や短い新聞記事を、概要や要点を順序だてて伝えることができる。	English		
1	仕事に関する指示や安全に関わる遵守事項、機械の使い方を簡単に説明することができる。			
2	本や映画の筋を述べて、自分の感想や意見を伝えることができる。			
3	前もって準備をしたうえで、同僚や職場、会社組織を紹介し、職場の案内ができる。			
4	前もって準備をしたうえで、自分の専門分野における話題に関して、正確に簡単なプレゼンテーションを行うことができる。			
5	前もって準備をしたうえで、十分はつきりと、個人的な話題もしくは決められた文学作品に関する簡単な説明を簡単にすることができる。			
6				

7				
8				

B1.3	◎自分の感想や考えを加えながら、学業や仕事に関係ある短い文章や短い新聞記事を、概要や要点を順序だてて、ある程度の流暢さをもって、伝えることができる。	English		
1	関心事や専門とする学問等に関係した様々な馴染みのある話題についてわかりやすく説明することができる。			
2	一語一語練習しなくても、準備しておいた短いプレゼンテーションができ、わかりやすい質問に答えることができる。			
3	ほとんど困難なしに、相手に自分の論点を示し、議論をすることができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

Spoken Production

B2

〔B2の目安〕

- 自分の興味関心のある分野に関連する限り、幅広い話題について、明瞭で詳細な説明をすることができる。
- 時事問題について、いろいろな可能性の長所、短所を示して自己の見方を説明できる。

B2.1	<p>◎自分の興味関心のある分野の話題について、明瞭で詳細な説明をすることができる。</p> <p>◎時事問題等について、自分の意見も加えながら、明確に述べることができる。</p> <p>◎自分の興味関心のあるトピックについて、論拠を並べ自分の主張を明確に述べることができる。</p>	English		
1	予想される状況や原因・結果を推測し、問題の概要をはっきり伝えることができる。			
2	原因や結果、予想される状況を推察できる。			
3	自分の関心分野に関係する話題は広範囲にわたって、はっきりと説明することができる。			
4	個人的・文化的・異文化的かつ社会的な事柄を広範囲にわたって、はっきりと説明することができる。			
5				
6				
7				
8				

B2.2	<p>◎あらかじめ複数の論点を整理したうえで、自分の興味関心のある分野や時事問題についての自分の主張を明確に述べるができる。</p> <p>◎自分の行ったプレゼンテーションについて、聴衆からの質問に、明瞭で詳細な説明をすることができる。</p>	English		
1	聞き手を困らせることのない程度にはっきりと流暢に自然に、一般的な話題について報告することができる。			
2	考えを論理的につなげ、適切な例を用いて自分の考えを広げたり支持したりしながら、はっきりと一貫した議論が展開できる。			
3	考えを論理的につなげ、筋の通っている議論をすることができる。			
4				

5				
6				
7				
8				

B2.3	◎あらかじめ用意したプレゼンテーションを、聴衆の興味に応じて内容を調整して、的確なプレゼンテーションをすることができる。	English		
1	重要な点や関連した詳細を強調して、自分の専門分野の話題に関するプレゼンテーションをはっきりかつきっちりとすることができる。			
2	詳細に自分の考えについて議論できる。			
3	準備しておいたテキストから自然に離れて聴衆からの質問に答えることができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

Spoken Production

C1

〔C1の目安〕

- 複雑な話題を、派生的問題にも立ち入って、詳しく論ずることができ、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。

C1	<ul style="list-style-type: none"> ◎複雑なトピックについて、派生的な問題にも触れながら、明確で詳しいプレゼンテーションをすることができる。 ◎複雑なトピックについて、一定の論点を展開し、適切な結論を導いたプレゼンテーションをすることができる。 	English		
1	あいまいな言葉や語調をほぼまじえず、聞き取りやすくスピーチできる。			
2	キーワードやトピックを効果的に示し、聞き手が理解しやすい順序を用いて、主要な主張を印象づけることができる。			
3	客観的な論拠や情報源を示し、強力な反論のいくつかを予め想定して、自身の主張を聞き手に伝え、論理的に説得できる。			
4	教室内の発表や私的な集まりで、聞き手の予備知識や関心にあわせ、語彙・文体・議論の構成を、ある程度使い分けられる。			
5	聞き手の反応にあわせ、その場である程度の速度の調整・主張の反復や言い換え・具体例の提示ができる。			
6	必要に応じ質問者の大意や真意を確認したり、質問への好意的評価を返したりしながら、よどみなく応答できる。			
7				
8				

〔C2の目安〕

- 状況にあった文体で、はっきりとすらすらと流暢に記述や論述ができる。
- 効果的な論理構成によって聞き手に重要点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。

C2	◎複雑なトピックについて、聞き手が重要点を把握したり、記憶にとどめたりすることができるよう、効果的な論理構成を用いて、状況にあったスタイルではっきり流暢に伝えることができる。	English		
1	あいまいな言葉や語調をまじえず、強調したい箇所では語調や速度を調整し、流暢にスピーチできる。			
2	印象に残るキーワードや明確なトピックを効果的に組み合わせ、聞き手を説得する論理構成を用いて、論点を記憶させながら、複雑な主張ができる。			
3	最適の論拠や情報源を示し、ありうる反論の多くを予想して、自身の主張を聞き手に伝え、複雑なテーマでも論理的に説得できる。			
4	会場の大小や公式性の程度を問わず、聞き手の予備知識や関心にあわせ、語彙・文体・議論の構成を、自覚的に使い分けられる。			
5	聞き手の反応にあわせ、機敏に速度の調整・主張の反復や言い換え・具体例の提示ができる。			
6	自身の主張に不都合な指摘や、攻撃的な質問に対しても、聞き手に有益な公正な態度で、自信をもって応じることができる。			
7				
8				



Writing [書く]

MGU CEFR 到達度一覧

学習目標に到達した日付を記入しましょう。

		English			
A1	A1.1				
	A1.2				
	A1.3				
	A1.4				
A2	A2.1				
	A2.2				
	A2.3				
B1	B1.1				
	B1.2				
	B1.3				
B2	B2.1				
	B2.2				
	B2.3				
C1	C1				
C2	C2				

Writing

A1

〔A1の目安〕

- 新年の挨拶等短い簡単な葉書を書くことができる。例えばホテルの宿帳に名前、国籍や住所といった個人のデータを書き込むことができる。

A1.1	<ul style="list-style-type: none"> ◎当該言語の文字・つづりを、必要に応じて手本を参照しながら、正確に書くことができる。 ◎当該言語の文字・つづりを1文字ずつ発音されれば、聞いたとおりに書くことができる。 ◎当該言語で書いてある文字・つづりを書いてあるとおりに書き写すことができる。 	English		
1	当該言語の文字・つづりを、必要に応じて手本を参照しながら、正確に書くことができる。			
2	当該言語の文字・つづりを1文字ずつ発音されれば、聞いたとおりに書くことができる。			
3				
4				
5				
6				
7				
8				

A1.2	<ul style="list-style-type: none"> ◎住所・氏名・職業等の項目がある表を埋めることができる。 ◎辞書を適宜用いて、自分について基本的な情報(名前・住所・家族等)を書くことができる。 	English		
1	記入用紙に、基本的な個人情報(名前、住所、年齢、職業等)が含まれる記入用紙に記入することができる。			
2	自分についての簡単な文を書くことができる。(例:住んでいるところ、家族構成等)			
3				
4				
5				
6				
7				
8				

A1.3	<p>◎簡単な語句や基礎的な表現を用いて、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について、短い文章を書くことができる。</p> <p>◎簡単な語や定型表現を用いて、メッセージカード(誕生日カード等)や身近な事柄についての短いメモ等を書くことができる。</p>	English		
1	当該言語で書いてある文字・つづりを書いてあるとおりに書き写すことができる。			
2	グリーティングカードや簡単なメッセージを書くことができる。			
3	自分や家族等身近なテーマについて、簡単な語句を用いた短い文章を書くことができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

A1.4	<p>◎複数の文を用いて、日常のなじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について、関連のある情報に触れながら、短い文章を書くことができる。</p> <p>◎複数の文を用いて、周囲の人や環境について、関連のある情報に触れながら、短い文章を書くことができる。</p>	English		
1	自分や家族等身近なテーマについて、複数の文を用いて、まとまりのある短い文章を書くことができる。			
2	事前に用意された注文書に必要事項を記入することができる。			
3				
4				
5				
6				
7				
8				

Writing

A2

【A2の目安】

- 直接必要のある領域での事柄なら、簡単に短いメモやメッセージを書くことができる。
- 礼状等の短い個人的な手紙を書くことができる。

A2.1	◎日常的・個人的な内容であれば、招待状・私的な手紙・メモ・メッセージ等を基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、書くことができる。	English		
1	自分が今いる場所や待ち合わせ場所を人に伝えるメモを書くことができる。			
2	適切な句や挨拶を使って、簡単な個人的な手紙を始めたり終えたりすることができる。			
3	ごく簡単な個人的な手紙を書くことができる。 (例: 招待を受ける・招待する・あることを人に感謝する・謝る)			
4	招待やお礼や謝罪の短い個人的な手紙を書くことができる。			
5	短い簡単なメモやメッセージを書くことができる。 (例: 電話があったことを伝えたり、SMSでコメントしたりできる)			
6				
7				
8				

A2.2	◎個人的経験や自分に直接必要のある領域での事柄であれば、身の回りの出来事や趣味・場所・仕事等について、簡単な描写ができる。 ◎基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、日記や写真、事物の説明文等、目的にあったまとまりのある文章を書くことができる。	English		
1	“and”, “but”, “because”のような語句を用いて、まとまりのある簡単な文章を書くことができる。			
2	自分自身や物事、よく知っている人々について、短い文章を書くことができる。			
3	簡単な語句を用いて、日常生活のさまざまな事柄について、短い文章を書くことができる。 (例: 家族・学校・趣味・休日・アルバイト等)			
4				
5				

6				
7				
8				

A2.3	◎聞いたり読んだりした内容(生活や文化の紹介等の説明や物語)であれば、基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、感想や意見等を短い文章で書くことができる。	English		
1	人々についての短い簡単な想像上の伝記や物語を書くことができる。			
2	いつ・どこで・何をしたか、過去の経験や出来事について、短く簡単な文章を書くことができる。			
3	簡単な物語を読んで、短い感想や意見を書くことができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

Writing

B1

〔B1の目安〕

- 身近で個人的に関心のある話題について、つながりのある文章を書くことができる。
私信で経験や印象を書くことができる。

B1.1	◎日常なじみのあるトピック(自分・家族・すぐ身の回りの事柄)について、基本的な表現や頻繁に使われる語句を用いて、順序立てて、ある程度まとまりのある文章(エピソード・説明文・指示等)を書くことができる。	English		
1	仕事の手順や機械の作動方法についての簡単で明瞭な説明を書くことができる。			
2	簡潔な形で、自分の履歴書を書くことができる。			
3	学校の行事や旅行等、自分の身近な出来事について簡単に記述することができる。			
4	自分がよく知っていることや、想像できることについて、簡単に記述することができる。			
5	自分の好きなことや興味があることについて、短い文章を書くことができる。			
6	トピックが身近であれば、インターネットのチャットに参加することができる。			
7				
8				

B1.2	◎文の機能(因果関係・比較対照・列挙等)を意識し、適切な接続詞・副詞を用いて書くことができる。 ◎いくつかのパラグラフで、旅行記や自分史、身近なエピソード等の物語文を、物事の順序に従って書くことができる。	English		
1	自分の関心がある分野のさまざまなトピックについて、簡単なつながりのある文章を書くことができる。			
2	短い個々の語句をつなぎ合わせて並べ、また辞書や参考資料を使って、簡単なつながりのある文章やエッセイを書くことができる。			
3	過去に起こったことについて述べる簡単な物語を書くことができる。			
4	映画や本のあらすじを述べたり、簡単な物語を書いたり、ある出来事を報告したりすることができる。			
5	手紙の中で、悲しみ・喜び・興味・後悔・同情のような感情を表現することができる。			
6	友人や知人に、自分の近況を伝えたり、尋ねたりする個人的な手紙を書くことができる。			
7	個人的な手紙の中で、自分の体験や感情を述べた長い手紙や電子メールを書くことができる。			

8				
---	--	--	--	--

B1.3	<p>◎専門的でない語彙や複雑でない文法構造を用いて、新聞記事や映画等について、あらすじや基本的な内容を報告したり、自分の意見を含めて書いたりすることができる。</p> <p>◎文章の目的(手紙・日記・レポート等)を意識して、書くことができる。</p>	English		
1	<p>詳細な情報を与えたり求めたりする標準的な手紙を書くことができる。 (例: 広告に返信する、仕事に応募する)</p>			
2	<p>標準的な書式で、自分の専門分野の事柄について定められた事実情報を伝えるごく簡単な報告を書くことができる。</p>			
3	<p>自分の専門分野の身近な事柄についてのたくさんの事実情報を、ある程度自信をもって、要約したり、報告したり、それについて意見を述べたりすることができる。</p>			
4	<p>ニュースを求めたり提供したりする個人的な手紙を書くことができる。文学・音楽・映画のような抽象的あるいは文化的トピックについて個人的な手紙を書くことができる。</p>			
5	<p>質問や事実情報を伝えているメッセージを書き取って、問題を説明することができる。</p>			
6				
7				
8				

Writing

B2

〔B2の目安〕

- 興味関心のある分野内なら、幅広くいろいろな話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。
- エッセイやレポートで情報を伝え、一定の視点に対する支持や反対の理由を書くことができる。
- 手紙の中で、事件や体験について自分にとっての意義を中心に書くことができる。

B2.1	◎文章の目的・文体を意識して、明瞭で詳細な文章(手紙・日記・レポート等)を書くことができる。 ◎興味関心がある分野について、収集した情報を要約し、自分の意見を明確にしなが ら文章を書くことができる。	English		
1	自分の関心がある分野に関する様々なトピックについて、明瞭で詳細な文章(報告・発表の文 章等)を書くことができる。			
2	一般的・学問的・職業的に関心のあるトピックについての記事の要約を書くことができる。			
3	個人的問題・文化的・異文化間の問題・社会的問題について、明瞭で詳細な文章を書くこ とができる。			
4	個人的な手紙の中で、様々な感情や態度を述べるができる。また、手紙・日記・ブログ等で、 自分の意見や感想を述べながら、その日の出来事や体験を報告することができる。			
5				
6				
7				
8				

B2.2	◎段落間の関係が明確で、論理の展開が一貫した文章を書くことができる。 ◎ひとつのトピックについて、複数の論点を整理し、自分の根拠を示し、適切な語彙・ 文構造を用いて、一貫した内容のエッセイやレポートを、書くことができる。	English		
1	場面に応じて適切な表現や慣例を用いて、関連する情報を求めたり伝えたりする標準的で形 式的な様々なタイプの文章を書くことができる。			
2	エッセイやレポートの中で重要な点を強調し、論点を補強する例証を含めて体系的に議論を展 開することができる。			
3				
4				

5				
6				
7				
8				

B2.3	◎自分の専門分野や関心のある事柄について、報告書や論文等の複雑な内容を含む文章を論理的に矛盾がなく、明瞭かつ詳細に書くことができる。	English		
1	たくさんの情報源から情報や議論を要約し、統合することができる。			
2	構成がはっきりした長い詳細な文章を書くことができる。			
3	賛成・反対を比較検討しながら、ある視点を指示、あるいは否定する意見を述べて、議論を展開する文章を書くことができる。			
4				
5				
6				
7				
8				

Writing

C1

〔C1の目安〕

- 適当な長さでいくつかの視点を示して、明瞭な構成で自己表現ができる。
- 自分が重要だと思う点を強調しながら、手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題を扱うことができる。
- 読者を念頭に置いて適切な文体を選択できる。

C1	<ul style="list-style-type: none"> ◎いくつかの視点を示して、明確な構成で、適切な長さの自己表現ができる。 ◎自分が重要だと思う点を強調しながら、手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題について書くことができる。 ◎読み手を念頭に置いて適切な文体を選択し、それに基づいて書くことができる。 	English		
1	表現の慣例や文法に関する目立った誤りを犯さず、読みやすい文章で、論文(長いレポート)や手紙が書ける。			
2	読み手の予備知識や理解の度合い、取り上げる論文・随筆等のテーマ、文章のジャンルに応じ、語彙・文体・議論の構成を、自覚的に使い分けられる。			
3	客観的な論拠や情報源を示し、強力な反論のいくつかを予め想定して、自身の主要な主張を読み手に伝え、説得できる。			
4	一般的な学術的慣習に従い、資料から引用またはパラフレーズ(自身のことばによる要約)ができる。			
5	専門分野の争点や、文学作品の議論に値する特徴を、論文(レポート)全体の「問い」として明示することができる。			
6	問題設定に即し、論理的な誤りを犯さず、一貫性をもって自身の主張を論証できる。			
7	枚挙・分類・定義・理由—帰結(因果)関係・仮説検証等の論理的スキルを自覚的に用いることができる。			
8	他者の主張の問題点や、文学作品の議論に値する特徴を取り上げ、反論や批評が書ける。			

〔C2の目安〕

- 明瞭な、流暢な文章を適切な文体で書くことができる。
- 効果的な論理構造で事情を説明し、その重要点を読み手に気づかせ、記憶にとどめさせるように、複雑な内容の手紙・レポート・記事を書くことができる。
- 仕事や文学作品の概要や評を書くことができる。

C2	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 明確で流暢な文章を適切な文体で書くことができる。 ◎ 読み手が複雑な手紙・レポート・記事等を、その重要点を把握し、記憶にとどめることができるように、効果的な論理構造で文章を書くことができる。 ◎ 専門的な文章や文学作品の概要や批評を書くことができる。 	English		
1	表現の慣例や文法に関する誤りを犯さず、読み手が一読して分かる文章で、学位論文（卒業論文）や公的な報告書が書ける。			
2	読み手の予備知識や、取り上げる論文・随筆等のテーマ、文章のジャンルに最適の語彙・文体・議論の構成を、効果的に使い分けられる。			
3	最適の論拠や情報源を示し、ありうる反論の多くを予想して、自身の主張を読み手に伝え、細部まで効果的に説得できる。			
4	それぞれの専門分野の慣習に従い適切に、資料から効果的に引用またはパラフレーズ（自身のことばによる要約）ができる。			
5	専門分野のあらたな争点や、文学作品についての独自の論点を、大小複数の「問い」を組み合わせて示すことができる。			
6	独自の問題設定に即し、最適の論理的スキルを選び、一貫性をもって複雑な主張を論証できる。			
7	枚挙・分類・定義・理由—帰結（因果）関係・仮説検証等の論理的スキルを効果的に用いて、学術的議論が書ける。			
8	専門的な論文の問題点や、文学作品の議論に値する特徴を独自に見つけ、一定の学術的価値のある反論や批評が書ける。			

◆CEFR 基準に対応した外国語資格

CEFR	A1	A2	B1	B2	C1	C2		
英語	TOEIC	110～(L)/115～(R)	275～(L)/275～(R)	400～(L)/385～(R)	490～(L)/455～(R)			
	TOEFL ITP	337～	460～	543～	627～			
	TOEFL iBT	40～56	57～86	87～109	110～120			
	IELTS	3.0	4.0～4.5	5.0	5.5～6.0	6.5	7.0～7.5	8.0
フランス語	DELF DALF	DELF A1	DELF A2	DELF B1	DELF B2	DALF C1	DALF C2	
	フランス語能力試験(TEF)	Niveau 0+/ Niveau 1	Niveau 2	Niveau 3	Niveau 4	Niveau 5	Niveau 6	
ドイツ語	ドイツ語検定試験 (Goethe Institut Zertifikat)	Goethe-Zertifikat A1 Start Deutsch 1	Goethe-Zertifikat A2 Start Deutsch 2	Goethe-Zertifikat B1	Goethe-Zertifikat B2 Zertifikat Deutsch für den Beruf (ZDFB)	Goethe-Zertifikat C1	Goethe-Zertifikat C2 GDS	
	オーストリア政府公認 ドイツ語能力検定試験(ÖSD)	A1 Grundstufe Deutsch 1	A2 Grundstufe Deutsch 2	B1 Zertifikat Deutsch Österreich/ Zertifikat B1	B2 Mittelstufe Deutsch	C1 Oberstufe Deutsch	C2 Wirtschaftss- prache Deutsch	
	TestDaF				TDN3	TDN4	TDN5	
中国語	漢語水平考試(HSK)	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
スペイン語	スペイン語検定試験(DELE)	DELE A1	DELE A2	DELE B1	DELE B2	DELE C1	DELE C2	
韓国語	韓国語能力評価試験(KLAT)	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
イタリア語	PLIDA イタリア語検定	PLIDA A1	PLIDA A2	PLIDA B1	PLIDA B2	PLIDAC1	PLIDA C2	

◆日本国内のみで通用する外国語資格

英語	実用英語技能検定(英検)	3級	準2級	2級	準1級	1級	1級
フランス語	実用フランス語能力認定試験 (仏検)(DAFP)	3級	準2級	2級	準1級	1級	1級
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験(独検)	5/4級	3級	2級	準1級	1級	1級
中国語	中国語検定試験(中検)	準4級	4級	3級	2級	準1級	1級
スペイン語	スペイン語技能検定(西検)	6級	5級	4級	3級	2級	1級
韓国語	ハングル能力検定試験	5級	4級	3級	準2級	2級	1級
韓国語	韓国語能力試験(TOPIK)	1級	2級	3級	4級	5級	6級
ロシア語	ロシア語能力検定試験	4級	3級	2級	1級	1級	1級
ロシア語	ロシア語検定試験(TPKII)	基礎レベル	入門レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
日本語	日本語検定	7級	6級	5級	4級	3級	2級
イタリア語	実用イタリア語検定	5級	4級	3級	準2級	2級	1級
アラビア語	実用アラビア語検定(NPO法人)	6級	5級	4級	3級	2級	1級
タイ語	実用タイ語検定試験	5級	4級	3級	準2級	2級	1級

◆日本語を母語としない人のための検定試験

日本語	日本語能力検定	N5	N4	N3	N2	N1
-----	---------	----	----	----	----	----

◆教養教育センター付属研究所主催 語学講座一覧

講座名	内 容	参加資格	教室
TOEIC 集中特訓講座	TOEICのスコアアップを目標とした講座です。レベル別にTOEICの試験問題に慣れることを目指しています。春学期・秋学期・夏季・春季休暇を利用して、年4回の開催を予定しています。	全学年対象	横浜/白金
DELE準備講座	DELEは世界共通基準のスペイン語コミュニケーション能力試験です。この講座ではまず初級レベル(A1,A2)の受験を目指す人を対象に、スペイン語の自立的学習方法身につけるための講座です。学期中は総合的な力を養成するためのコース、夏季・春季休暇中には文法中心に学習するコースとコミュニケーションを中心とする学習コースの2コースの開催を予定しています。	スペイン語の学習歴のある学生	白金
ドイツ語検定講座	ドイツ語技能検定試験4級(11月実施)の対策講座を横浜校舎で秋学期に、同3級(6月と11月実施)の対策講座を白金校舎で春学期と秋学期に開設します。そのなかで自分で勉強する上でのコツも解説します。特にハンブルク大への短期または長期留学の希望者には受講を強く勧めます。	ドイツ語の学習歴のある学生	横浜/白金
ハングル能力検定試験 対策講座	ハングル能力検定の4級・5級の受験を目標にする対策講座です。発音、語彙、文法、表現の4級・5級相当の諸点にわたって重点的に学習し、聞き取りの訓練も行います。過去問も実際に解いてみます。横浜校舎では5級、白金校舎では4級を対象とする講座を開講します。	韓国語の学習歴のある学生	横浜/白金
中国語コミュニケーション 検定講座	「中検」(日本中国語検定協会)4級・3級及び「HSK漢語水平考試」(中国国家教育部認定)初級レベルのリスニング・筆記試験に対応する能力をテスト形式で養成。検定指導の豊富な経験を持つ講師が担当します。中国語学習経験のある本学学生が対象です。	中国語の学習経験のある学生	横浜/白金

◆教養教育センター付属研究所主催 語学検定試験一覧

講座名	内 容	参加資格	教室
TOEIC IP	近年の就職活動において重要になりつつあるTOEICテストを学内で受験することができます。年に3回の開催を予定しています。	全学年対象	横浜/白金
TOEFL ITP	団体受験版のTOEFLです。形式はペーパーテストとなります。留学を目指す人にとって、自分の語学レベルを知るのにより機会となります。年に2回の開催を予定しています。	全学年対象 (英語コミュニケーションIAB・2AB履修者は対象外)	横浜

教養教育センター主催 ランゲージラウンジ

教養教育センターは、ランゲージラウンジを設置し、語学検定試験用の問題、様々な副読本等を用意し、自律的な学習ができるように手助けをしています。

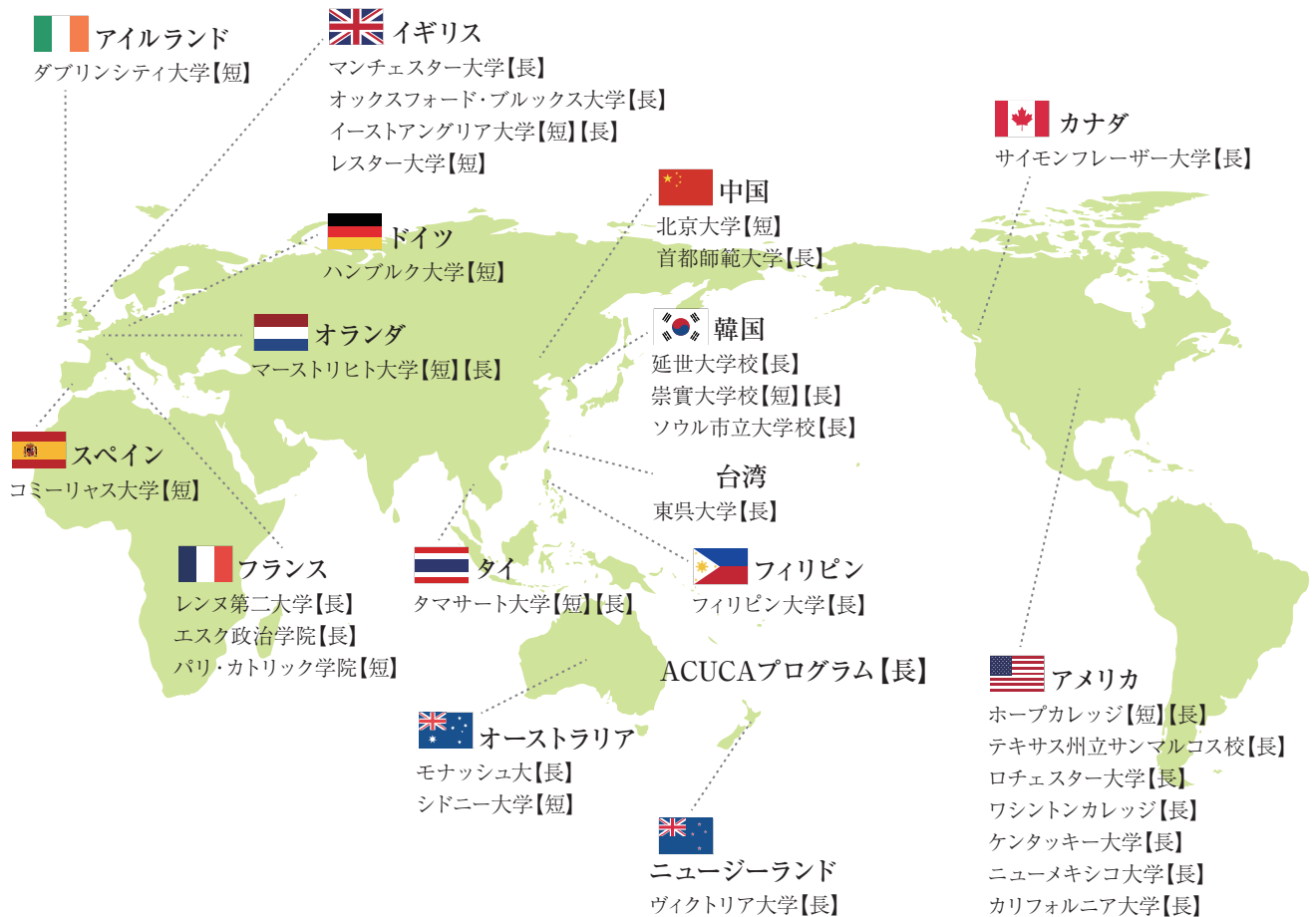
さらに、英語はILSSP (Independent Language Study Support Program) を開設し、自習者みずからが具体的な目標を設定し、その目標に向かって定期的にチューターと面談しながら学習するプログラムを展開しています。

英語以外の外国語では、言語ごとに曜日、時限を決めてネイティブスピーカーの会話実践の場、オンライン学習の学習補助の場を提供したり、日頃の学習の補足、相談等を行ったりしています。

また、Luncheon Lecture Seriesを開催し、昼食をとりながら気軽に簡単な英語のレクチャーを聞く体験の場を提供しています。外国語でのレクチャーを聞いて、自分の学習のヒントを得たり、留学の準備のためのヒントを得たりしたらよいでしょう。

詳細は、ポートヘボンで案内します。

留学プログラムのお知らせ



※2014年現在

明治学院大学では、世界15ヶ国30大学と提携し、豊富な交換留学プログラムを用意しています（詳しくは本学ホームページの「国際センター（IC）」で確認してください）。長期留学は約1年にわたって海外の大学で学部生として学び、短期留学は夏・春の休暇期間を利用しての外国語研修が主たる内容です。長期であれ、短期であれ、あなたの世界を広げる大きなチャンスです。

しかし、留学は海外旅行ではなく、なんの準備もなく行けるわけではありません。せっかくの留学なのに、話しかけられてもモジモジしているばかりで、宿舎にとじこもっていたり、日本人グループでかたまっているだけでは語学の上達は望めません。相応の外国語運用能力を高め、留学先の文化に対する理解を深めておきましょう。

明治学院大学では、留学を希望する皆さんに、共通科目として外国語の特別なレッスン科目（〇〇語特別研究）と文化理解のための指導科目（リサーチ&プレゼンテーション）を提供しています。通常の外国語科目に加えて、受入れ校のプログラムも念頭におきながら特別なレッスンを受けるわけですから、皆さんのがんばり次第で外国語運用能力は飛躍的に向上します。また、受入れ校で研究成果の発表などが課せられても、教師の個別指導を受けて事前に準備しておけば安心して臨めます。努力する皆さんを、私たちも全力で支えたいと思っています。いろいろな機会を上手く利用して、外国語運用能力を高めていきましょう。

参考文献

吉島茂、大橋理枝(他)訳・編(2004)

『外国教育II 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』
朝日出版社

モロー・キース編 和田稔他(訳)(2013)

『ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)から学ぶ英語教育』
研究社

投野由紀夫編(2013)

『CAN-DOリスト作成・活用 英語到達度指標CEFR-Jガイドブック』
大修館書店

国際文化フォーラム編(2013)

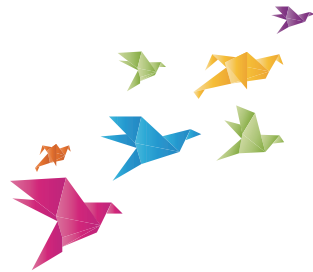
『TJF外国語学習のめやす—高等学校の中国語、韓国語教育からの提言—』
公益財団法人国際文化フォーラム

MGU 外国語学習ポートフォリオ

2015年3月発行

編集代表 大森 洋子
発行者 大森 洋子
発行 明治学院大学教養教育センター
〒244-8539 横浜市戸塚区上倉田1518
電話 045-863-2067
制作・印刷 相和印刷株式会社

Printed in Japan



MEIJI GAKUIN UNIVERSITY